



か け は し

栄西・栄東・丘珠地区版

関係機関や専門職との連携

～住み慣れた地域での生活を続けるために
生活支援コーディネーターの取り組み～

「札幌市介護支援専門員連絡協議会東区支部 研修会」

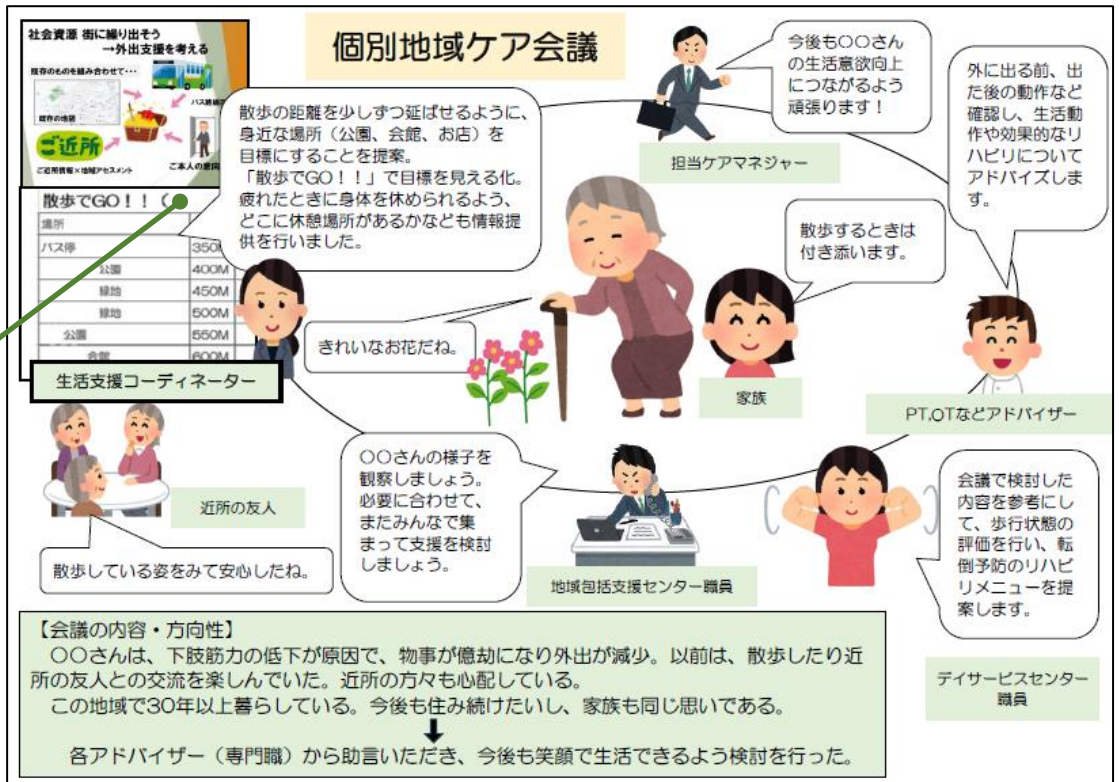
東区民センターで開催され、生活支援コーディネーターが講話と情報提供を行いました。研修テーマは「ケアマネ知っ得～みんなで作ろう 社会資源マップ～」です。高齢者の方が安心して街に出掛けられるために活用しやすい社会資源マップを作成する内容で行われました。



「個別地域ケア会議」

この会議では、高齢者の個別課題の解決に向け、地域包括支援センター等が主催し、多職種の協同による支援を通して、自立支援へのケアマネジメントを目指します。

様々な支援者と一緒に、ご本人の生活の様子や希望に寄り添って、生活支援の視点から提案、情報提供を行いました。







生活支援コーディネーターの役割の1つとして「地域資源の把握」があり、情報の収集、住民の方々や関係機関へ情報提供を行っています。多職種の連携や現状の資源・情報を「つなぐ」ことで、できることの選択肢が増え、地域の支え合いにつながる可能性がひろがります。



支えつつ支えられる地域づくりを目指して（丘珠地区）

丘珠地区福祉のまち推進センター主催「健康講座とふれあい入浴会」に参加された70歳以上で独居の方を対象とした生活に関する意識調査を行いました。

内容は、日常のくらしの中で実際に自分が困っているもの、他の人に手を貸せそうなことについての項目は何か、またお手伝いできそうな項目についても調査しました。

 困りごと ランキング	1位	大型ごみ/不用品の処分	
	2位	日常的ではない掃除や洗濯（カーテン、電球交換）	
	3位	スマホやパソコン、レジの操作	
 手を貸せそう ランキング	1位	日常のゴミ出し	
	2位	買った荷物を運ぶ	
	3位	買い物に行く（代行）、話し相手	

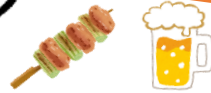
「困っている」「ちょっと手を貸してほしい」と言いにくいものですが、困った時はお互い様の気持ちで支え合える関係性になり助け合いが広まってくると心強くはないですか？

気軽にお互いを気遣い支え合えるまちづくりをこれからも一緒に考えていきましょう！



丘珠地区の取り組みを紹介します♪

「サロン居酒屋みなみ」



丘珠みなみ町内会主催のふれあいサロン「居酒屋みなみ」が約3年ぶりに復活しました！もともと昼のサロンと夜の居酒屋は好評でしたが、コロナで休止。「引きこもりがちな日々を終えて、そろそろ集まって盛り上がりよう！」と何度も検討を重ね開催が決まりました。玄関前で焼き鳥を焼く男性陣、会館内で料理の準備をする女性陣、楽器演奏や合唱など内容は盛り沢山！大人も子どももみんな笑顔で笑い声や話す声が後を絶ちません。孤独感の解消や生きがいづくり、また住民同士の支え合いの場として町内会のみなさんが大事にしているつどいの場が再び地域に戻ってきました。

また、12月10日（日）には餅つき会が開催され赤ちゃんから大人まで約100人弱の方が参加。自分でまらめたお餅をほおぼる子どもたちの姿がほほえましく、若い世代の親子連れやシニアの方も一緒に楽しいひとときを過ごしていました。



居酒屋



おもちつき



発行・お問い合わせ先

東区社会福祉協議会

電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター

熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

